

米の輸出拡大・多収生産に向け 研修会を開催します



2023年度の本県のコメの輸出実績は過去最高の7億円と前年から大きく伸びています。つくば地域管内では11経営体（約55ha）が輸出米生産に取り組んでいますが、水田地帯である当管内ではさらなる拡大が期待されています。

そこで、米販売の海外展開の現状及び多収生産技術について理解を深め、輸出拡大等の将来の生産の方向性について検討するため、下記により研修会を開催します。

つきましては、是非、当日の研修会を取材いただきたく、御案内申し上げます。

【日時】令和6年8月5日（月）13時30分から15時00分まで

【場所】JA茨城みなみ伊奈支店（つくばみらい市谷井田1609）

【参集】管内※米生産者、市町村、農業関係団体 約50名

※取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町

取材よろしくお願
い
します！



<講話>

- 1 県産米輸出の現状と取組について
県農産物販売課
- 2 新規需要米の収益性について
県南農林事務所農業振興課
- 3 高温耐性多収性品種「にじのきらめき」
の生産について
つくば地域農業改良普及センター

<事例紹介>

輸出米の取組について
農業経営士 中山 和哉 氏

—問い合わせ先—

茨城県県南農林事務所 つくば地域農業改良普及センター 担当：大友

電話：029-836-1109 FAX：029-836-1816

E-Mail: tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp